

● 地域提案型

平成21年度 採択内定案件

I. 提案事業の概要	
1. 国名	中華人民共和国
2. 事業名	中国・西安市における水環境改善 –合流式下水道の改善–
3. 事業の背景と必要性	<p>中国では、近年の急速な経済発展に伴い、大都市を中心に水環境の悪化等の環境問題が深刻化している。西安市は、近年では、汚水と雨水を別々のパイプで流す分流式が整備されているが、早くに整備された区域において、汚水と雨水を1本のパイプで流す合流式が採用されており、都市化が進む以前の計画排水量で設計していることから、雨天時の急激な水量増加の際には、下水がパイプの能力を超えることによって、マンホール等から溢れ出し、道路冠水を引き起こす等交通に支障をきたしている。また、下水処理場の処理能力を超える下水は、簡易な処理で河川に放流されているため、公衆衛生や生態系に影響を与えることも懸念される。</p> <p>日本では、2003年に合流式下水道改善対策の推進のため、下水道法施行令の一部改正が行われ、京都市においても、合流式下水道区域全域を対象とした基本計画の策定、改善対策の推進に取り組み、着実な成果を見せている。京都市は円借款事業である「陝西省水環境整備事業（西安市）」において、4年間で70名以上の研修員の受け入れを実施し、すでに西安市と深い友好関係を構築済みである。西安市の合流式下水道の改善対策の推進に向けた支援を実施する。</p>
4. プロジェクト目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 水環境改善（合流式下水道の改善）の知識、取組を理解した人材（200名程度）を育成 2. 合流式下水道の改善対策に関する施設の適正な設計計算、運用、維持管理等の実施ができる人材（技術者5～10名）を育成 3. 合流式下水道の改善対策に関する計画手法を理解した人材（技術者5～10名）を育成
5. 対象地域	西安市
6. 受益者層（人数規模）	<p><直接的受益者> 西安市の水環境改善に取り組む人材200名 西安市の合流式下水道改善対策に関わる行政官および技術者 10名 <間接的受益者> 西安市民</p>
7. 活動及び期待されるアウトプット	<p><アウトプット></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 合流式下水道の改善のための知識、取組を理解した人材（200名程度）を育成 2. 合流式下水道の改善対策に関する施設の適正な設計計算、運用、維持管理等の実施ができる人材（技術者5～10名）を育成 3. 合流式下水道の改善対策に関する計画手法を理解した人材（技術者5～10名）を育成 4. 両国及び両市の更なる友好関係の構築と市民の意識向上 <p><活動></p> <p>1年次</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 西安市において、京都市上下水道局職員により、西安市職員等に対して京都市や日本の水環境改善（合流式下水道の改善）に関するセミナー（講演）を実施する。 2. 西安市において、現地調査、合流式下水道の改善対策に関する西安市職員（受入研修参加者含む）との意見交換会を実施する。 3. 14日間にわたる受入研修を実施し、西安市の水環境分野の担当者（技術者）が主体となって作成する合流式下水道の改善計画について、京都市上下水道局職員による助言を行う。 <p>2年次</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 西安市において、京都市上下水道局職員により、西安市職員等に対して京都市や日本の水環境改善（合流式下水道の改善）に関するセミナー、西安市職員（受入研修参加者含む）とのワークショップ（意見交換会）を開催し、1年次受入研修参加者が習得した合流式下水道の改善対策の技術手法と西安市の現状から、西安市における合流式下水道の改善対策実施に向けての検討を行い、課題を整理する。 2. 14日間の受入研修を実施し、西安市における合流式下水道の改善対策実施に向けて、ワークショップに基づく課題の整理結果に対応した技術手法等、重点的に講義を実施する。 3. 受入研修において、講義内容に沿った合流式下水道の改善対策に関する施設現場におもむき、技術指導を行う。
8. 実施期間	2010年4月～2012年3月
9. 事業費概算額	13,964千円
10. 事業の実施体制	<p>日本側：京都市（上下水道局）、公益財団法人 太平洋人材交流センター</p> <p>西安市側：西安市人民政府</p>
II. 応募団体の概要	
1. 団体名（提案自治体）	京都市（上下水道局）、公益財団法人 太平洋人材交流センター（当時は財団法人）
2. 対象国との関係、協力実績	<p>京都市と西安市は、1974年の友好都市提携以来、教育、文化、スポーツ等幅広い分野での親善交流や、技術研修員の受け入れを行ってきた。2006年からは、円借款事業である「陝西省水環境整備事業（西安市）」に関わる西安市職員を対象として、4年間で4回にわたり70名以上の研修員の受け入れを実施したところである。公益財団法人太平洋人材交流センターは中国への人材協力支援に長年携わり、中国各地でのセミナーの開催、本邦研修への受け入れを実施してきた。「陝西省水環境整備事業（西安市）」では京都市と協力して研修員の受け入れを担った。</p>